

平成 21 年 5 月 7 日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006～2009

課題番号：18530309

研究課題名（和文） アジア太平洋のフロンティア地域の国際経営

研究課題名（英文） International Management in frontier region in the Asian Pacific

研究代表者

丹野 勲（TANNO ISAO）

神奈川大学・経営学部・教授

研究者番号：70221405

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経営学

キーワード：経営学、国際経営

1. 研究計画の概要

「アジア太平洋のフロンティア地域の国際経営」に関して、3つのアプローチにより研究する。

(1) アジア太平洋のフロンティア地域の国際経営に関する理論的研究である。アジア太平洋のフロンティア地域として、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、中国などを重点的に取り上げる。国際経営の理論的視点として、国際比較経営、特に制度分析の視点を重視した理論的研究を行う。すなわち、特に国際経営環境としての各国の制度、経済制度、政治制度、法制度、外資制度、企業制度、コーポレートガバナンス制度、人的資源管理制度などの研究を行う。さらに、日本企業のアジア太平洋フロンティア地域への企業戦略について、理論的研究を行う。

(2) アジア太平洋のフロンティア地域の現地調査である。アジア太平洋のフロンティア地域として、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、インドネシア、マレーシアなどの東南アジア諸国、中国などを取り上げる。各国での日系企業、現地企業、現地機関を中心とした聞き取り調査、資料収集を実施し、国際比較経営の視点で分析する。

(3) アジア太平洋のフロンティア諸国の地域研究の視点での研究である。アジア太平洋地域での最新の政治、国際関係、経済、人的資源、社会、文化などの視点で各国の分析を行う。さらに、アジア太平洋のフロンティア地域での地域連携、貿易関係、投資関係などについても研究する。

2. 研究の進捗状況

(1) 本研究の第1のアプローチであるアジ

ア太平洋のフロンティア地域の国際経営に関する理論的研究では、特に制度分析の観点からの研究が進展している。ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、中国の各国の制度としての法律、特に企業法、外国投資法、労働法を重点的に研究した。さらに、企業法・外国投資法とコーポレートガバナンス、労働法と人的資源管理について、国際比較経営、制度分析の視点から理論的に考察した。

(2) 本研究の第2のアプローチであるアジア太平洋のフロンティア地域の現地調査については、各国での日系企業、現地企業、現地機関を中心とした聞き取り調査、資料収集を実施した。現在その分析を行っている。

(3) 本研究の第3のアプローチであるアジア太平洋のフロンティア地域の地域研究では、最新の政治、国際関係、経済、人的資源、社会、文化などの視点で各国の分析を行っている。さらに、地域連携としてのGMS（大メコン圏）開発、CLMV T（タイ、ラオス、ミャンマー、ベトナム、タイ）、AFTA（アセアン自由貿易地域）、ASEAN FTA（自由貿易協定）などの研究が進展している。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

（理由）

(1) アジア太平洋のフロンティア地域としてのベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、インドネシア、マレーシア、中国での現地調査、資料収集は順調に進展している。

(2) アジア太平洋のフロンティア地域の制度分析の視点での研究については、ベトナム、

カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、中国の各国の経済制度、法律、特に企業法、外国投資法、労働法の研究が進展している。各国の制度分析による研究結果をすでに論文、学会報告などで発表している。

(3) アジア太平洋のフロンティア地域での地域連携として極めて注目されるGMS(大メコン圏)開発、AFTA、FTAなどの研究が進展している。この研究結果をすでに論文、学会報告などで発表している

(4) 日本企業のアジア太平洋フロンティア地域への企業戦略について、研究が順調に進展している。特に、最近日本企業の直接投資国として極めて注目されているベトナムについては、研究成果がかなり蓄積している。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 本研究の成果を単著として出版する予定である。また、学術論文および学会報告による研究成果の公表も行う予定である。

(2) 最新の情勢と更なる研究のために、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、中国などのアジア太平洋のフロンティア地域への現地調査と資料収集を行う予定である。

(3) 今後の研究の重点として、本研究の基礎理論としての制度分析の理論的研究を行う。制度理論は、経済学、政治学、組織論、企業論、社会学などの分野で最先端の領域として研究されている。それらの研究成果を踏まえて、アジア太平洋のフロンティア地域の制度分析に関する体系的理論化を行いたい。

(4) 本研究の最終的なまとめに向けて、アジア太平洋のフロンティア地域での国際経営と特徴を、制度や比較経営の視点から体系化したい。その場合、日本や欧米諸国の制度との比較も行い、アジア太平洋のフロンティア地域の国際経営に関して、実証的・理論的考察を行いたい。

(5) 日本企業のアジア太平洋フロンティア地域へのこれからの企業戦略について、今後重点的に研究する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計6件)

丹野勲、アジア太平洋の国際経営 アジア太平洋フロンティア地域、AFTAと日本企業のアジア戦略を中心として、2008年経営行動研究年報、第17号、3-9、2008年、査読有

丹野勲、カンボジアの国際経営環境 人的資源、経済、外国投資法、会社法、労働法、神奈川大学国際経営論集、No36、43-62、2008年、査読無

丹野勲、ベトナムの労働法と人的資源管理、神奈川大学国際経営論集、No37、27-40、2009年、査読無

丹野勲、中国の労働契約法と人的資源管理、神奈川大学国際経営論集、No37、41-58、2009年、査読無

丹野勲、ベトナムの企業法とコーポレートガバナンス、国際経営フォーラム(神奈川大学国際経営研究所)第20号、2009年、査読無

丹野勲、タイの会社法とコーポレートガバナンス、国際経営フォーラム(神奈川大学国際経営研究所)第20号、2009年、査読無

[学会発表](計6件)

丹野勲、アジアにおける多国籍企業の展開と人材育成、国際ビジネス研究学会第11回全国大会、平成18年11月3日、早稲田大学

丹野勲、ベトナムにおけるサステナブル・グロースと人材育成、流通情報学会平成18年度全国大会、平成18年12月2日、桜美林大学

丹野勲、アジア太平洋の国際経営、日本経営行動研究学会平成19年度全国大会統一論題報告、平成19年9月11日、東洋大学

丹野勲、中国・アジア諸国のサービス産業市場自由化と制度、流通情報学会平成20年度全国大会、平成20年9月20日、富士短期大学

丹野勲、戦略経営とグローバル経営 制度分析とアジア地域のグローバル化のケースから、国際戦略研究学会第1回全国大会統一論題報告、平成20年9月13日、中央大学

丹野勲、アジアフロンティア地域の国際経営 GMS、CLMVTを中心として、多国籍企業学会東部部会報告、平成20年11月8日、明治大学

[図書](計1件)

丹野勲、榊原貞雄、実教出版、グローバル化の経営学、2007年、9-218

[産業財産権]

出願状況(計0件)

取得状況(計0件)

[その他]